

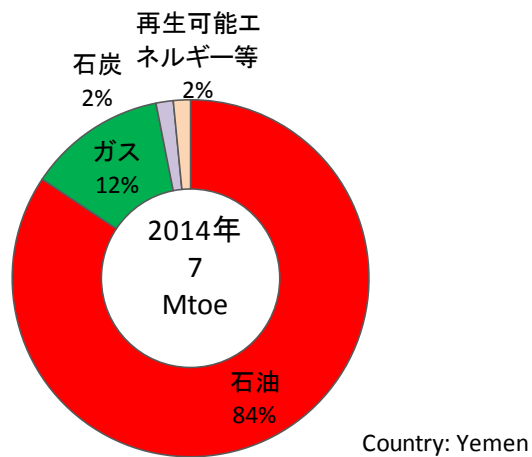
## 4-10 イエメン

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

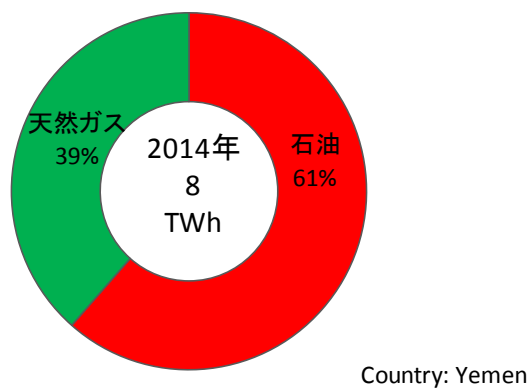
- (1) 一次エネルギー供給量 (2014年) : 7 百万 toe (日本の 0.02 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2014年) : 0.28toe (日本の 0.08 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2014年) : 216%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 21.3 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 1.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2014年) : 0.81 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 8.7%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2015 年末) : 原油 100.0 年以上、ガス 100.0 年

一次エネルギー供給構成 (2014 年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

発電電力量構成 (2014 年)



(出所) World Energy Balances 2016, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 石油・ガス・鉱物資源省 (Ministry of Oil & Mineral) が石油・ガス政策の担当機関である。本省に直結してイエメン総業 (Yemen General Corporation; YGC) があり、この下に石油ガス鉱区管理会社、投資会社、石油精製会社、石油輸出管理会社、鉱区契約会社などの各分野を担う国営企業が組織されている。

電力省 (Ministry of Electricity & Energy) 傘下の国営電力会社 (Yemeni Public Electricity Corporation; PEC) が発電・送電・配電を担っている。

### (2) 基本政策

- 石油の輸出が国家の財政基盤である。これに加えて、天然ガス事業を、財政を支えるもうひとつの柱にしようとしている (2009年10月にLNGの生産・輸出を開始)。
- 貧困対策および国内経済の推進のため、社会インフラとしての電化率の向上を目指す。

### (3) 最近の動向

- イエメン勢力間の内戦が外国の軍事介入を招き、複雑な紛争が継続している。2014年9月に首都 Sana'a を占拠した武装勢力 Houthi 派が、翌年1月に移行政府の Hadi 大統領ら政府要人を監禁した。大統領や首相らが総辞職したため、政府不在の事態に陥った。Hadi 大統領は首都 Sana'a を脱し、Aden から国外の Riyadh に逃れた。2015年3月にはサウジアラビア率いるアラブ有志連合が対イエメン軍事介入を開始した。これには、欧米 (特に米英) が支持と支援を行っている。数々の和平の試みが行われているものの、和平の実現には至っていない。首都 Sana'a を中心とした地域は Houthi 派と Salih 前大統領からなる反政府派の連合が実効支配を続けている。
- 2011年の「アラブの春」以前より中央政府の治安維持能力はすでに低下しており、イスラム過激派組織「アラビア半島のアル・カーイダ」(AQAP)、上述の Houthi 派、南部運動 (通称 Herak、旧南イエメンの分離・独立を主張) などが勢力を拡大していた。AQAP は、山岳部等に潜伏してイエメン軍・治安関係者や施設へのテロを継続してきた。2015年の混乱に乗じて、「イスラーム国」(IS) を名乗るテロ分子がイエメンにも登場し、混乱は深まった。
- 2011年半ば以降、石油・ガス施設への襲撃が繰り返されており、国家歳入に大きな影響が出ている。原油生産量は、2011年イエメン騒乱までは30~40万 b/d だったが、2015年には4.7万 b/d にまで減少した。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2015年におけるイエメンからの原油輸入量は3.7万 KL (我が国輸入量の0.02%) であった。また、2014年のLNG輸入量は1379Mcm (同0.6%) であった。
- 危険情勢悪化を受けて2015年2月、在イエメン大使館は一時閉館。サウジアラビア・Riyadh にてイエメン関係業務を継続中。2016年12月現在の危険情報は「全土避難勧告」。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Yemen

(2014年)

(1) 一次エネルギー供給量		7 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.28 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.26 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		216 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		21.3 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		0.81 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	2 %
	石油	84 %
	天然ガス	84 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	2 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-116 %
(9) 石油の輸入依存度		-20 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸入先	第1位	-
	第2位	-
	第3位	-

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2016, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2016, IEA